1　国語

学校番号	１００９

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２	年次	３年前期
使用教科書	高等学校改訂版「現代文Ｂ」（第一学習社）						
副教材等	即戦ゼミ「新国語問題総演習」（桐原書店）　他						

1　担当者からのメッセージ

・本格的な評論について筆者の考えや展開の仕方を理解するために、丁寧に読んでいきましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業も行います。
・「読む能力」を向上させ、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や、意思を伝えるための論理的に「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・小説を読み、登場人物の考え方や生き方、置かれた状況などにも目を向け、理解しましょう。
・授業後には、内容を復習しておきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・論理的な文章を読んで、筆者の考えや論理の展開の仕方について理解することができる。
・文学的な文章を読んで、登場人物の生き方やその背景なども含めて理解することができる。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、前期末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	評論	教材:「未来世代への責任」	○			◎	○	a:筆者の考えや論の進め方を的確に捉えようとしている。 d:経済学者の述べる「共有地の悲劇」について、環境問題の観点から整理できている。 e:環境問題が「私的財産制によっては解決不可能な問題」であることを筆者の論理に従って理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認と分析及び定期考査
	評論	教材:「言語が見せる世界」	○			◎	○	a:筆者の考えや論の進め方を的確に捉えようとしている。 d:「古典的概念観」と「プロトタイプを重視する考え方」の違いを整理してみよう。 e:「『相貌を見る』とは何か」という問いに対して自分なりに具体例を考えられる。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認と分析及び定期考査
	小説	教材:「舞姫」	○		◎	◎	○	a:擬古文的な文章を読み、理解しようとする態度がある。 c:豊太郎とエリスの破綻について考えたことを、自分の言葉でまとめようとしている。 d:人物、情景、心情、時代背景などを捉え、人物やその行動を理解しようとしている。 e:文章の形態や作者が主人公に仮託した思いを理解できている。	a:行動の観察及び記述の点検 c:物語の登場人物について考えたことを書く d、e:記述の確認と分析及び定期考査
	評論	教材:「身体の個別性」	○			◎	○	a:構成を考えながら筆者の論理を理解しようとしている。 d:ピアジェの「自己中心性」「脱中心化」とはどういうものか、それぞれ理解できている。 e:「自己中心的な利他性」とはどういうものか、理解できている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認と分析及び定期考査
	評論	教材:「リスク社会とは何か」	○			◎	○	a:筆者の主張を自身の課題として捉えようとしている。 d:「リスク社会」における「リスク」が「民主主義的な決定の基盤」に与える影響について理解している。 e:「リスク社会は、知と倫理的・政治的決定との間にある溝を、隠蔽し得ないものとして露呈させざるを得ない」理由を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認と分析及び定期考査

	評論	教材:「コスモポリタニズムの可能性」	○	◎		◎	○	a:「働く」ことの意味を、筆者の論理に沿って捉えようとしている。 b:「今まで意味のあるものとして聞こえていた母語が…ただの音声に聞こえてくるような体験」とはどのようなものか、自分の経験をもとに話し合うことができている。 d:コスモポリタニズムの「規範的な主張」が必要とされる理由を考え、理解している。 e:「グローバル化した社会」においてコスモポリタニズムが希求する「公平性と平等性」とはどのようなものか、理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動、発表、質疑応答の観察 d、e:記述の確認と分析及び定期考査
	評論	教材:「『である』ことと『する』こと」	○			◎	○	a:対比表現を整理しながら、筆者の主張を自身の課題として捉えようとしている。 d:「価値の再転倒」という筆者の考えを理解し、自分たちのあり方や行動の仕方を考える。 e:日本社会が抱える矛盾点と筆者の提言を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認と分析及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。